



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F

●会 長 鍋島 勝雄
●幹 事 中村 良平
●会報委員長 米澤 久二



「馳星周と愛する犬たち」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

会員故岩田勇さんのご葬儀には、多くのご参列有り難うございました。

5月14日、高山中央ロータリークラブ創立20周年記念例会にご招待を頂き出席させて頂きました。記念講演に、故中村久子さんの次女富子さんが、母親の思い出を話されました。



幼くして、身体に異変が起き、命は限りとめましたが、両手・両足を切断せざる負えなくなりました、両親の嘆きは大変なことでしたが、我が子に最大の愛情を傾けていた矢先、父親は疲労にて他界され、母親は生活の為に再婚されました。再婚相手の祖母に教育(読み書き)を受ける傍ら、母親として、一人で生活出来る事を念じて、今で言うスパルタ教育をされたそうです。手首の無い肘と口にて針糸を通す事、口で墨を摺り、口に筆して字を書き、肘に箸を持ち食事をする等、並大抵の努力ではなかったと想像できます。嬉しかったことは自分で歩くことが出来ない時に義足を頂いて歩くことが出来た時だそうです。

数日たって、石川洋さんの「母への誓い」言葉集を読みました。

お母さん 今 あなたから頂いた

かけがえのない 命の尊さに気づいています

心の底から有り難う 感謝をさせてください。

あなたが私の中に生きて励まし

祈っていて下さることを知りました。

お母さん あなたが与えて下さった命に

新しい力がみなぎっています。

心の底からお役に 立てさせて下さいと 誓わせて下さい。

高山中央ロータリークラブの皆さん、感動を有り難うございました。

<幹事報告>

◎台北東海RCより

東日本大震災義援金 送金報告へのお礼

◎高山市青少年育成市民会議より

・高山市青少年育成市民会議総会の開催について(ご案内)

日 時 6月6日(月) 午後7時30分より

場 所 高山市役所 地下大会議室

◎飛騨高山国際協会より

・放送大学岐阜学習センター開設20周年記念式典、公開講演会のご案内

日 時 6月5日(日)

記念講演会 13:40~15:10

講師 放送大学長/一橋大学名誉教授 石 弘光

公開座談会 15:25~16:25

場 所 市図書館「煥章館」生涯学習ホール 地下大会議室

◎高山市長より

高山市・松本市姉妹都市提携40周年記念式典について(ご報告)

<例会変更>

高 山 … 6月16日(木)は、サヨナラ乗鞍山頂例会のため

19日(日) 大黒岳山頂 に 変更

6月25日(木)は、定款第6条第1節により休会

高山中央… 6月27日(月)は、年度末慰労例会のため

18:30~ 山陣 に変更

<受贈誌>

R I 日本事務局 (「毎年あなたも100ドルを」)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	29名	13名	42名	43名	97.67%
本日	32名	-	32名	42名	76.19%

例会報告

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日

結婚記念日

なし

◎夫人誕生日

(ご自宅へ花束をお届け)

堀川 和士・規子さん

6. 15

◎出席表彰

平 義孝

25年



◎在籍周年記念表彰

伊藤 松寿

35年

◎3ヶ月表彰

- ・遠藤 隆浩
- ・小森 丈一
- ・垂井 政機
- ・新田 敬義
- ・平 義孝
- ・野戸 守
- ・古橋 直彦
- ・堀川 和士



高山赤十字病院の現状

～地域医療を崩壊させないために～

高山赤十字病院

院長 棚橋 忍 様

高山赤十字病院は古くは明治32年1月飛騨三郡立大野病院として設立され、大正1年11月日本赤十字社斐太療院として日本赤十字社に移管されました。その後、昭和18年1月に高山赤十字病院となり、現在に至っています。飛騨三郡立病院から110年、赤十字に移管されてから87年が経過していますが、飛騨地域の基幹病院として、飛騨地域の医療を支え、また住民からも「日赤」として親しまれてきております。この間の先人たちの積み上げてきた重みと住民の皆さんの期待を毎日感じております。

当院は、救命救急センターを開設し、地域がん診療拠点病院、災害拠点病院、医師初期臨床研修病院(医科・歯科)、地域周産期母子医療センター等に指定され、初期医療から高度医療を行い、24時間、365日体制での救急医療、高度の医療を推進し、地域医療に貢献していくことが使命(ミッション)

と考えています。

しかし、当院のミッションを遂行していくためには大きな危機に直面し、医療崩壊が叫ばれています。ひとつは医師不足であり、もうひとつは経営の危機です。医師不足の実態は大まかにみて1)空間的偏在、2)診療間の偏在(3)開業医偏在(勤務医不足)かと思えます。空間的偏在は都市に医師が集まり、飛騨のような僻地には不足する状態です。診療間の偏在は3K的な診療科が嫌われ、いわゆる楽な診療科(患者さんが死なない科)に医師が集まることをいうのかと思えます。開業医偏在は、過酷な病院勤務、報われない病院勤務を嫌い、開業医が増えている事を言います(立ち去り型サボタージュといえます)。

厚労省は人口当たりの医師の数は足りていると繰り返し言っておりましたが、昨年よりようやく各大学に地域枠という形で医学部の定員を増加させています。臨床研修制度が平成16年より開始になり大学の入局する医師が減少し、そのため地方病院からの医師の引き上げがあり、当院にも大きな影響がありました。当院はもともと医師が充足したことがない僻地の病院ですので、一人の医師の減少でも地域医療に大きな影響をもたらします。また、当院は救命救急センターを併設しており、どの診療科の医師の減員はドミノ的に日当直等で他の医師の負担となり、疲弊感につながっていきます。医師不足により医療レベルが落ちてしまいますと、挽回するのに多大な労力・時間が必要になりますので、医療の確保のため、大学、他の医療機関から臨時医師の採用を行っていますが、次に述べる経営を圧迫しています。

もうひとつの経営危機はすでに述べましたように医師不足と連動しており面もありますが、最大の原因は医療費抑制です。医療費の抑制は、国の財政の危機とも連動している面はありますが、高齢化に伴う医療費の自然増を認めない政策です。当院のように市民病院の役割を担い、高度医療を行い設備投資、マンパワーの投資を行っているため固定経費が多くなるらざるを得ない地方病院にとっては経営を強く圧迫しています。特に救急医療、周産期医療は大きな赤字部門ですが、これらの医療は飛騨地域にはなくてはならない機能であり、維持し発展させてゆきたいと考えています。

医師確保の特効薬はないのが実情かと思いますが、まずは研修医確保からと思い、医学部学生を対象に春と夏に無料の病院見学をおこない、さらに岐大、京大の学外実習も引き受けています。これらは次代の医療を担う人材確保の種まきと考え地味コツで行っています。都会の研修病院のほうではできない地域医療の研修を引き受け、病院の存在自体、もちろん観光都市高山をアピールして行こうと考えています。

病院およびその職員は貴重な社会意的資源です。この社

地域を育み大陸をつなぐ

例会報告

会資源を有効に利用していくために、当院はすべての職種の人材育成を行い、安全に高度医療を提供するとともに、開業医の先生方と連携し急性期の病院としての機能を十分に発揮していきたいと思えます。

このたび講演の機会をいただきました高山西ロータリークラブの皆に御礼を申し上げますとともに、今後のご活躍を祈念申し上げます。

インターアクト年次大会について



インターアクト
年次大会実行委員長

田近 毅

大会までいよいよあと2ヶ月となり、先日地区内の38インターアクトクラブに案内状

を送付いたしました。

通常ですと1泊2日の日程で行っている大会ですが、今年度は当初予定しておりました乗鞍青少年自然の家が震災対応で使用困難となり、急遽1日のみでの開催といたしました。

また、大会にて講演いただく『地球のステージ』の桑山氏には、せっかく山形からお越しいただくので、年次大会とは別途、広く市民対象に夜もう1講演をお願いしました。

会員の皆様におかれましては、朝から夜まで丸一日お手伝い戴く形となります。お手元に配布させていただいた分担表をご確認いただき、40年に一度のインターアクト年次大会の運営にご協力をお願い申し上げます。

<ニコニコボックス>

●高山中央RC 劔田 広喜さん

久しぶりにお邪魔させていただきます。よろしく申し上げます。

●高山中央RC 仲谷 政美さん

久しぶりのメイキャップ宜しくお願いします。

●鍋島 勝雄さん

- ・6月に入って、私にとって最後の月となりました。あと3回の例会を無事務めさせていただきバトンタッチをしたいと思います。
- ・日赤病院長 棚橋様ようこそ。また劔田さん、仲谷さん、ようこそ。

●中村 良平さん

高山赤十字病院 院長 棚橋忍先生、および高山中央RC劔田さん、仲谷さんのご来訪を歓迎します。幹事のお役目も残り一か月となりました。何事もなく、無事終われる事を願っています。

●斎藤 章さん、平 義孝さん

高山赤十字病院 院長 棚橋忍先生のご来訪を歓迎申し上げます。

●折茂 謙一さん

棚橋先生のご出席を心より歓迎いたします。

●阪下 六代さん

棚橋忍先生、ご多忙の折ご来会くださりありがとうございます。また劔田広喜さん、仲谷政美さんのご来訪を歓迎いたします。

●田中 正躬さん

フォークダンス仲間の棚橋先生の御来訪ありがとうございます。先日の県フォークダンス55周年大会、大変お忙しい中参加いただき楽しく踊る事が出来ました。感謝です。劔田さん、仲谷さんのご来訪も併せて歓迎いたします。

●垂井 政機さん

小学校以来、久しぶりで図鑑を買いました。鳥の図鑑であります。野鳥のさえずりというCDがおまけについてきました。鳥の音色をバックグランドミュージックに楽しんでおります。シジュウカラ、ホオジロの区別など知らない事はいっぱいあります。

下手な句をひとつ。「菖蒲湯や 親子で笛の音合わせ」